

4. SAM NEWS誌寄稿エッセイ

SAM日本チャプター広島支部は都合により2008年末をもって休会とします。

[SAM: Society for Advancement of Managementの日本チャプター](#)

SAM Japan Chapter 本部:学校法人産業能率大学内)が年2回出版する、「SAM NEWS」(24ページ)という機関誌があります。私が同会に入会したのは1995年2月でした。前広島支部長の時永朝夫さん(当時ホテルユニオン社長・現ときなが保険事務所代表)の後任支部長に就任したのが1997年1月で現在に至ります。事務局が産業能率 大学中国事業センター内にありますが、毎月の定例会関係の事務局代行も務めています。詳細は「[SAM 広島支部](#)」をご覧ください。

東京、名古屋、大阪と広島は4支部で、正会員は総勢100名余。本機関誌「SAM NEWS」は毎年2回の発行で、全20ページ足らずの小規模機関誌です。支部長の立場もあって、遠隔地の広島の存在感を維持したいという一心から、毎回寄稿し続けています。1ページものの寄稿文です。

ところで、伝統を誇る国際的な組織 SAM ですが、去る2005年7月には、日本チャプター創設80周年を迎えたことから、名古屋支部会員でもある豊田章一郎・トヨタ名誉会長さんを講師に迎えて、盛大に記念式典・パーティーを開催しました。その80周年行事の一つとして、「創立記念誌」(全108頁)が出版されました。その記念誌に2箇所(計10ページ)で寄稿する機会を与えられました。豊田章一郎さんは、橋本龍一総理時代の「経済審議会会長」でもあったことから、私が推進する「最低車両数規制の撤廃(別名:個人トラック制の認可)」を奇しくも同審議会として総理に建議書を提出されたこともあって、その辺りのことも下記寄稿文「[№18](#)」で書いています。

(2008年12月15日記)

(元)SAM日本チャプター広島支部長 吉田祐起

[25. 「2008年 広島支部だより」](#)

(SAM NEWS Winter, 2008)

[24. 「『非計画的人生』を歩んできた私が喜寿を迎えて抱く『計画的人生』」](#)

(SAM NEWS Winter, 2008)

[23. 「オーケストラはdriveするな、carryしろ！」](#)

(SAM NEWS Spring, 2008)

[22. 「企業労使の社会的地位向上を考える」](#)

(SAM NEWS Winter, 2007)

[21. 「グローバリゼーションは国家間に『平均化・フラット化』を誘発し](#)

[国単位では『格差拡大』を生む」](#)

(SAM NEWS Spring, 2007)

[20. 「『\(所得\)格差社会』は『想定内』 政治は『さもない論議』をやめるべき!？」](#)

(SAM NEWS Winter, 2006)

[19. 「ケインズ著の一節にみる拙著理念・哲学との整合性」](#)

(SAM NEWS Spring, 2006)

[18. 「わが国トラック運送業界の21世紀像](#)

[～欧米物流先進諸国『後追い』の図～」\(特別寄稿\)](#)

(SAM 日本チャプター創設80周年記念誌 Oct., 2005)

[17. 「『SAMの灯火』を守る 小規模支部の心意気」](#)

(SAM 日本チャプター創設80周年記念誌 Oct., 2005)

[16. 「2005 SAM International Business Conference」に出席して」](#)

(SAM NEWS Spring, 2005)

[15. 「初出版の拙著単行本はロングセラー!？」](#)

(SAM NEWS Winter, 2004)

[14. 「『トラックドライバー帝王学のすすめ』のウラ話」](#)

(SAM NEWS Spring, 2004)

[13. 「ラフカディオハーンの日本人観に脱帽！」](#)

(SAM NEWS Winter, 2003)

12. [『有言実行居士』のひとり言](#)
(SAM NEWS Spring, 2003)
11. [「続”サラリーマン帝王学のすすめ”～その後のエピソード～」](#)
(SAM NEWS Winter, 2002)
10. [「サラリーマン帝王学のすすめ」](#)
(SAM NEWS Spring, 2002)
9. [「話し言葉と書き言葉一考」](#)
(SAM NEWS Winter, 2001)
8. [「デフレ経済で思うこと」](#)
(SAM NEWS Spring, 2001)
7. [「私の健康管理～小さな動機、大きな成果へのドキュメント～」](#)
(SAM NEWS Summer, 1999)
6. [「文化も変えなければ生き残れない!？」](#)
(SAM NEWS Winter, 1998)
5. [「生涯学習とボランティア活動」](#)
(SAM NEWS Summer, 1998)
4. [「高齢社会・『減価償却済み人間』の演出」](#)
(SAM NEWS Summer, 1997)
3. [「英語・ワープロ・インターネットと私」](#)
(SAM NEWS Winer, 1997)
2. [「大胆な規制緩和提言で、自称アサーティヴ・マン」](#)
(SAM NEWS Spring, 1997)
1. [「人生四毛作へのチャレンジ」](#)
(SAM NEWS Summer, 1996)

yoshida.yuuki@a-bombsurvivor.com